

年 組 名前：

問1

日本でバスが運行してから120年を
迎えましたが、バスの輸送人員は、ピーク時の
3分の1に減少しています。
その原因を教えてください。

.....
.....

問2

日本バス協会が定めるバス事業の始まりは、
いつ、どこで、なにが走ったことに
していますか。

・いつ：年月日
・どこで：
・なにが：

問3

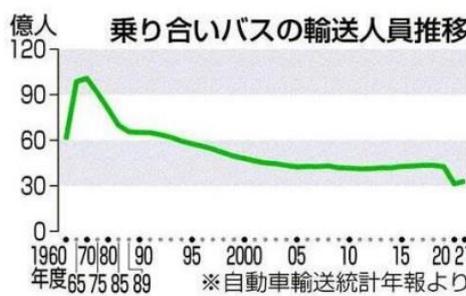
運転手も、なり手が少なくなっています。
2024年と2030年には、何人が不足すると
考えられていますか。

・2024年：人
・2030年：人

日本でバスが運行してから20日で120年を迎えた。輸送人員は高度経済成長期に急増したが、人口減少や過疎化に加え、新型コロナウイルス禍の影響でピーク時の3分の1に縮小。この10年間で約1万3千キロの路線が廃止となった。苦境が続く中、2024年度からの残業規制強化で運転手不足に拍車がかかる懸念もあり、外国人の活用を模索する動きも出始めた。

日本バス協会は、京都市で乗合自動車走った1903年(明治36年)9月20日をバス事業の始まりと位置付け

バス運行120年 経営は苦境
乗客減、10年で1.3万キロ廃線



る。1960年度に年間延べ60億人だった乗り合いバスの輸送人員は一時100億人を突破。通勤や通学、観光での移動を支えた。

だが、モータリゼーションの進展などを背景として70年代には減少局面に入る。緩やかに下降する中、新型コロナウイルスで急減。2021年度は33億人まで落ち込んだ。

経営環境の悪化もあり、21年度までの10年間で1万2770キロの路線が廃止に追い込まれた。バス事業を今年12月に廃止すると発表した大阪府富田林市の金剛自動車は「人手不足や売上の低下などのため」と説明する。

バス運転手は長時間労働や低賃金などが理由でなり手が少なく、高齢化も進む。残業規制強化で労働時間が短くなることもあり、日本バス協会には「24年時点で2万1千人、30年には3万6千人不足する」と訴える。

人手確保策として、各バス会社は、労働条件の向上や、女性や高齢者の活用を進めている。政府も大型2種免許の取得要件を緩和するなどしているが、状況は好転していない。このため外国人労働者の在留資格「特定技能」の対象に、タクシーやトラックとともにバスの運転手を追加する方向で調整している。

(2023年9月24日付 山梨日日新聞5面)

※『モータリゼーション』とは、自動車が社会と大衆に広く普及し、生活必需品化する現象のこと。